

# 第3回ワークショップ

## 真正で探究的な学びを実現する パフォーマンス評価

近年、次期学習指導要領に向けた議論において、高次の資質・能力を育成することが目指されているなど、パフォーマンス課題を取り入れた教科の授業づくりや、より充実した探究指導を行うことの重要性が一層増しています。

本ワークショップの5教科分科会では、最初に全体会でパフォーマンス課題の考え方を確認した上で、各分科会（国語、算数・数学、理科、社会、英語）に分かれて真正で探究的な学びを実現するパフォーマンス課題を取り入れた実践の進め方を考えます。その際、E.FORUM がTOPPAN 株式会社と共同で開発したデジタル・コンテンツについてご紹介し、実際に先生方に体験していただきます。また、探究分科会では、探究指導のポイントを確認した上で、最先端の研究に取り組んでいる医学研究科附属がん免疫総合研究センター（CCII）を見学します。

2026. 8. 19 **水** 13:00 - 16:00 (受付 12:30-)

参加費  
無料

### 受付会場

5教科別分科会：京都大学吉田南構内 吉田南4号館 1階 4共11教室  
 探究分科会：京都大学医学部構内 がん免疫総合研究センター 1階 ニトリホール前

### 対象

学校の先生方、教育委員会関係者、教員志望の学生 180名程度（各分科会30名程度）

### プログラム

#### 5教科別分科会

#### 探究分科会

13:00~13:45 全体会

趣旨説明

松下 佳代（京都大学 名誉教授）

「5教科におけるパフォーマンス課題を生かした  
デジタル・コンテンツと評価手法の開発」

奥村 好美（京都大学大学院教育学研究科 准教授）

水越 駿（TOPPAN株式会社）

14:00~16:00 ワークショップ

（国語、算数・数学、理科、社会、英語より選択）

国語科 本宮裕示郎（滋賀県立大学 准教授）

算数・数学科 福嶋 祐貴（京都教育大学 准教授）

理科 大貫 守（愛知県立大学 准教授）

社会科 若松 大輔（弘前大学 助教）ほか

英語科 田中 容子（元 京都大学大学院

教育学研究科 特任教授）

【持ち物】  
タブレット・PC等  
の端末

13:00~13:05 趣旨説明

13:05~14:05 講義

「真正で探究的な学びの現在地と  
その指導と評価のあり方」

石井英真（京都大学大学院教育学研究科 教授）

14:15~16:00 講義・施設見学

京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター（CCII）による講義と施設見学を予定しています。

高校の先生方  
対象



## 5教科別分科会

※タブレットやPC等の端末をご持参ください (Wifi環境は主催者側で用意します)。

### 国語科

国語科でのパフォーマンス課題づくり  
——演劇的手法を用いた物語の読み深め



本宮 裕示郎  
滋賀県立大学  
准教授

どのような課題であれば子どもも教師も夢中になって取り組むことができるのでしょうか。本分科会では、昨年度開発されたパフォーマンス課題 (中学校3年「握手」での演劇的手法) の体験を通して、子ども・教師にとって魅力的なパフォーマンス課題のあり方について考えたいと思います。

### 算数・数学科

算数・数学科における  
パフォーマンス課題のあり方

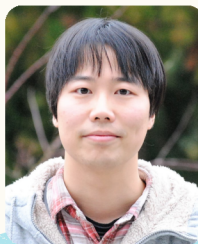


福嶋 祐貴  
京都教育大学  
准教授

算数・数学科では、パフォーマンス課題を取り入れるのが難しい、と感じられるかもしれません。本分科会では、これまでに開発された課題 (小学5年「面積」・中学3年「2乗に比例する関数」) および今後実施予定の課題などを体験していただきながら、算数・数学科におけるパフォーマンス課題のあり方を探ります。

### 理科

理科における  
パフォーマンス課題の理論と実際



大貫 守  
愛知県立大学  
准教授

本分科会では、理科におけるパフォーマンス課題の理論と実際について学びます。具体的には、中学校の理科の単元「電気の世界」における「電流と電圧の関係」および「電気エネルギー」の単元を中心にパフォーマンス課題について深めていきます。実際に中学2年生で実施予定のパフォーマンス課題やそれに関わるデジタルコンテンツを受講生自身が体験しつつ、パフォーマンス課題の理論や実践に関する理解を深めることを目的としています。

### 社会科

社会科における  
パフォーマンス課題の理論と実践



若松 大輔  
弘前大学  
助教



池田 泰弘  
弘前大学  
准教授

パフォーマンス課題は、評価課題であると同時に、現実的には学習課題の役割を担う場合も多くあります。そのため、魅力的な課題、かつ高次の思考を促す課題であることが求められます。

本分科会では、小学校第5学年の産業学習や中学校第2学年の歴史学習の具体例を中心に扱い、パフォーマンス課題や生成AIを取り入れた探究的な学びについて参加者のみなさんとともに認識を深めていきたいと思っております。

### 英語科

英語科における  
パフォーマンス課題と英語力の育成方法  
——生徒のつまずきに注目して



田中 容子  
元 京都大学大学院  
教育学研究科  
特任教授

すべての生徒にとってパフォーマンス課題が「深い理解」を実践するものであるためには、課題を遂行するための基礎力が育っていることが大前提となります。本分科会では課題に取り組める英語力を育てる際の効果的な方法について考えると共に、生徒たちにとって魅力的なパフォーマンス課題とはどのようなものかを追及していきたいと思っております。

### 探究分科会



石井 英真  
京都大学  
教授

本分科会では、「真正な学び」という観点から探究的な学びのあり方や実践指針を示し、試行錯誤を物語るこの意味について述べます。その上で、医学研究科附属の研究施設であるがん免疫総合研究センター (CCII) と連携し、がん免疫療法についての最新の知見や研究する営みのリアルを紹介いただくとともに、施設見学を行います。

### アクセス



5教科分科会 受付  
吉田南4号館  
【吉田南構内】

探究分科会 受付  
がん免疫  
総合研究センター  
【医学部構内】

### お申し込み

下記のQRコードよりお申し込みください。

※1分科会につき、同じご所属先からのご参加は3名までです。



本ワークショップは、内閣府によるSIP (戦略的イノベーション創造プログラム) の課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」における研究開発「真正で探究的な学びを実現する教育コンテンツと評価手法の開発」(研究開発責任者: 松下佳代) の一環として行っています。

締切: 8月2日 (日)

### お問合せ

京都大学大学院教育学研究科E.FORUM事務局  
e-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp